

First Hit

L2: Entry 6 of 18

File: JPAB

Aug 12, 2004

PUB-NO: JP02004227467A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2004227467 A
TITLE: ACCOUNT MANAGEMENT SYSTEM

PUBN-DATE: August 12, 2004

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

KAJIMA, KAZUYA

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

NEC SOFT LTD

APPL-NO: JP2003017256

APPL-DATE: January 27, 2003

INT-CL (IPC): G06 F 17/60; G07 D 9/00

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide an account management system which is easy to manage an account when the same account is shared by a plurality of users.

SOLUTION: An account managing part 102 divides an account 101 into a plurality of sub accounts to each of which the users are assigned. The account managing part 102 updates a balance corresponding to the sub account via a network 105 and a Web server 103 when a fund transfer request between the sub accounts is received from a manager (user A). The account managing part 102 also updates the balance corresponding to the sub account when a user B requests deposit/withdrawal processing for own sub account using an ATM device 106.

COPYRIGHT: (C) 2004, JPO&NCIPI

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2004-227467

(P2004-227467A)

(43) 公開日 平成16年8月12日(2004.8.12)

(51) Int. Cl. ⁷	F I	テーマコード (参考)
G06F 17/60	G06F 17/60 234N	3E040
G07D 9/00	G06F 17/60 222	
	G07D 9/00 451C	

審査請求 有 請求項の数 8 O L (全 10 頁)

(21) 出願番号	特願2003-17256 (P2003-17256)	(71) 出願人	000232092
(22) 出願日	平成15年1月27日 (2003.1.27)		N E Cソフト株式会社
			東京都江東区新木場一丁目18番6号
		(74) 代理人	100096231
			弁理士 稲垣 清
		(72) 発明者	鹿島 和哉
			東京都江東区新木場一丁目18番6号 N
			E Cソフト株式会社内
		Fターム(参考)	3E040 BA18 CA14 CB01 DA02 EA01
			EA02

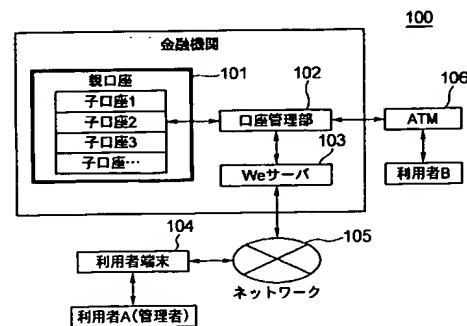
(54) 【発明の名称】 口座管理システム

(57) 【要約】

【課題】 複数の利用者が同じ口座を共有する場合に、口座管理が容易な口座管理システムを提供する。

【解決手段】 口座管理部102は、口座101を、それぞれに利用者が割り当てられた複数の子口座に分割する。口座管理部102は、ネットワーク105及びWebサーバ103を介して、管理者(利用者A)から子口座間の金銭の移動の要求を受け付けると、対応する子口座の残高を更新する。また、口座管理部102は、子口座の利用者Bが、ATM装置106を使用して自身用の子口座に対する入出金処理を要求すると、対応する子口座の残高を更新する。

【選択図】 図1



【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

金融機関に開設された 1 つの口座を親口座として、該親口座内に、それぞれが対応する利用者に割り当てられた 1 つ以上の子口座を設定する子口座設定手段と、
前記親口座の管理者及び前記子口座の利用者からの子口座に対する入出金指定入力に
応答して当該子口座の入出金処理を行なう子口座管理手段とを備えることを特徴とする口座管理システム。

【請求項 2】

子口座毎に当該子口座の利用者に対する利用条件を設定する子口座利用条件設定手段を更に備える、請求項 1 に記載の口座管理システム。

10

【請求項 3】

前記子口座の利用者には、当該利用者を認証するためのカードが発行されており、前記口座管理手段は、前記カードを使用して認証された利用者の子口座に対する入出金処理を許可する、請求項 1 又は 2 に記載の口座管理システム。

【請求項 4】

親口座を全て子口座に分割し、親口座のための入出金操作は、自動的に特定の子口座に対して行なわれる、請求項 1 から 3 の何れかに記載の口座管理システム。

【請求項 5】

親口座のための入出金操作は、子口座以外の親口座の部分に対して行なわれる、請求項 1 から 3 の何れかに記載の口座管理システム。

20

【請求項 6】

親口座の管理者は、全ての子口座の入出金の履歴情報が入手可能であり、各利用者は、自身に割り当てられた子口座の入出金の履歴情報が入手可能である、請求項 1 から 5 の何れかに記載の口座管理システム。

【請求項 7】

前記子口座設定手段は、更に、特定の支出費目を割り当てる 1 つ以上の別の子口座を設定する、請求項 1 から 6 の何れかに記載の口座管理システム。

【請求項 8】

金融機関に開設された 1 つの口座を親口座として、該親口座内にそれぞれが対応する入出金費目に割り当てられた 1 つ以上の子口座を設定する子口座設定手段と、
前記入出金費目について入出金指定入力が発生すると、対応する子口座の入出金処理に割り当てる支出割当手段とを備えることを特徴とする口座管理システム。

30

【発明の詳細な説明】**【0001】****【発明の属する技術分野】**

本発明は、口座管理システムに関し、特に、金融機関等に開設する 1 つの口座をそれぞれに入出金が可能な複数の子口座の単位で管理する口座管理システムに関する。

【0002】**【従来の技術】**

一般に、金融機関に開設する 1 つの口座には、1 人の名義人が設定され、金融機関は、名義人の入出金処理及び残高を、口座単位で管理している。通常、口座の名義人は、他人に、自身名義の口座に対する入金を自由に行なわせるものの、自身名義の口座からの出金を自由に行なわせることはない。このため、例えば異なる 2 人の名義人の口座間で、金銭の移動を行なう場合には、移動前の口座の名義人が、移動先の口座への振込みを行なう必要がある。これは、名義人間の関係が、同じ家計を営む家族である場合についても同様である。また、同じ名義人が、クレジットカード決済用の口座と、給料振込み用の口座とを分けて管理し、給料振込み用の口座から、クレジットカード決済用の口座へと金銭を移動させる場合についても、口座間の振り替え等の手続きが必要になる。

40

【0003】

例えば、仕送り等により、親名義の口座から子供名義の口座へ金銭を移動させるときには

50

、親は、口座間の振り替え等の手続きをする必要があり、同じ家計を営む家族内での金銭の移動であるにもかかわらず、手続きの手間と費用とが発生する。この手間や費用を削減するために、1回あたりの金銭の移動額を増やして、移動回数を削減すると、利便性に欠けるといふ問題がある。また、たとえ家族内の金銭の移動であっても、親は、子供名義の口座から親名義の口座への金銭の移動を自由にすることができないという問題もある。1つの口座を家族で共有する場合には、これらの問題は発生しないが、共有する口座の入出金状況が、家族全員に筒抜けとなり、プライバシーが保護できないという別の問題が発生する。

【0004】

プライバシーの保護を図りつつ、口座を家族等で共有する技術として、特開2000-251147号公報には、入出金費目を単位として口座を管理する技術が記載されている。この技術では、例えば入金費目「給料」や出金費目「駐車場代」「小遣い」といった入出金費目を指定して、口座からの出金や口座への入金を行なう。口座を共有する各人には、各人に応じたレベルのアクセス権限が設定される。この場合、口座の入出金費目について、アクセス権限内の費目の入出金状況は表示されるが、アクセス権限外の費目については入出金状況の表示がされないため、各人は、自身に固有の入出金状況を効率よく閲覧できる。例えば、親には全ての費目の入出金を表示するように設定し、子供には、自身用の「小遣い」の費目のみを表示するようにアクセス権限を設定することで、子供には、「小遣い」以外の入出金状況が表示されず、親のプライバシーが保たれる。

【0005】

また、同じ口座を複数の者が共有する別の技術として、特開2001-243400号公報（特許文献2）には、複数の利用者口座にリンクする関連口座を使用して決済を行なう技術が記載されている。この技術では、関連口座は、複数の利用者口座を代表し、リンクする複数の利用者口座に、決済処理を振り分ける機能を有する。例えば、複数の会社が、1つの関連口座を共同で使用してクレジットカード会社と取引をする場合、カード会社は、代表口座である関連口座に対して決済を行なう。カード会社によって関連口座に入金された金銭は、関連口座から、その関連口座にリンクする各会社の利用者口座に振り分けられる。

【0006】

【特許文献1】

特開2000-251147号公報

【特許文献2】

特開2001-243400号公報

【0007】

【発明が解決しようとする課題】

ところで、特許文献1に記載の技術は、アクセス権限に応じて表示する入出金項目を制限するのみであるため、この技術では、各人による出金金額を管理することができず、口座を共有する各人は、その口座の残高の範囲内で、自由に金銭を引き下ろすことができる。このため、例えば、親は、子供による過度の支出を防止することができない。

【0008】

また、特許文献2に記載の技術では、関連口座は、複数の利用者口座を代表する決済用の口座であるため、関連口座に入金された金銭を複数の利用者口座に振り分けるのみである。このため、関連口座や利用者口座に対する振込み処理を伴わずに、同じ関連口座にリンクする複数の利用者口座間で金銭の移動を行なうことはできない。関連口座にリンクする利用者口座間で金銭の移動を行なう場合には、通常の口座間の金銭の移動と同様に、口座間の振り替え等の手続きが必要になり、その手続きには手間や費用がかかる。

【0009】

本発明は、上記問題点を解消し、例えば家族内で1つの口座を共有する場合にも、口座の使用を簡易に管理できる口座管理システムを提供することを目的とする。

【0010】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するために、本発明の口座管理システムは、金融機関に開設された1つの口座を親口座として、該親口座内にそれぞれが対応する利用者に割り当てられた1つ以上の子口座を設定する子口座設定手段と、前記親口座の管理者及び前記子口座の利用者からの子口座に対する入出金指定入力に応答して当該子口座の入出金処理を行なう子口座管理手段とを備えることを特徴とする。

【0011】

本発明の口座管理システムでは、親口座は、例えば管理者（代表者）名義の口座として金融機関に開設され、親口座の管理者は、親口座内に、親口座の残高を振り分けた1以上の子口座を設定し、子口座ごとに利用者を割り当てて、親口座及び子口座を管理する。子口座の利用者は、自身に割り当てられた子口座に入金し、或いは、子口座から出金することができ、自身用の子口座の残高を更新して、その子口座を管理する。親口座の管理者は、親口座内の任意の子口座を指定して、その子口座に入金する、或いは、子口座から出金することができる。

10

親口座の管理者は、異なる利用者が割り当てられた子口座間で金銭を移動する場合であっても、口座間の振り替え等の手続きを必要とせず、2つの子口座間で、一方の子口座から他方の子口座へ金銭を移動して子口座間の残高を調整することができ、子口座の管理が容易となる。

【0012】

本発明の口座管理システムは、子口座毎に当該子口座の利用者に対する利用条件を設定する子口座利用条件設定手段を更に備えることが好ましい。この場合、管理者は、子口座に、子口座の利用条件として、例えばその子口座に許容される上限残高、下限残高、及び、所定期間内の出金金額の上限値を設定することで、子口座の利用者による子口座の利用の管理が容易となる。

20

【0013】

本発明の口座管理システムでは、前記子口座の利用者には、当該利用者を認証するためのカードが発行されており、前記口座管理手段は、前記カードを使用して認証された利用者により前記子口座に対する入出金処理を許可することが好ましい。この場合、子口座の利用者は、子口座の利用者を認証するためのカードを使用して、子口座の入出金処理を行なうことができる。

30

【0014】

本発明の口座管理システムでは、更に、前記子口座設定手段は、特定の支出費目を割り当てる1つ以上の別の子口座を設定することもできる。この場合、親口座に対して、入出金費目を指定した入出金処理が発生すると、その入出金処理は、その入出金費目に対応する別の子口座の入出金処理に割り当てられ、その子口座の残高が更新される。

【0015】

本発明の口座管理システムでは、親口座を全て子口座に分割し、親口座のための入出金操作は、自動的に特定の子口座に対して行なわれる構成とすることができ、或いは、親口座のための入出金操作は、子口座以外の親口座の部分に対して行なわれる構成とすることもできる。親口座の入出金処理が、例えば子口座を指定しないで行なわれた場合には、その入出金処理は、特定の子口座に対して行なわれて、また、親口座に何れの子口座にも属しない部分がある場合には、子口座以外の親口座の部分に対して行なわれる。

40

【0016】

本発明の口座管理システムでは、親口座の管理者は、全ての子口座の入出金の履歴情報が入手可能であり、各利用者は、自身に割り当てられた子口座の入出金の履歴情報が入手可能であることが好ましい。この場合、管理者は、全ての子口座の入出金の履歴を含む親口座に対する全ての入出金の履歴情報を入手することができ、親口座及び子口座の管理が容易となる。また、子口座の利用者は、自身に割り当てられた子口座の過去の入出金の履歴情報を入手することで、自身用の子口座の管理が容易となる。

【0017】

50

本発明の別の視点の口座管理システムでは、金融機関に開設された1つの口座を親口座として、該親口座内にそれぞれが対応する入出金費目に割り当てられた1つ以上の子口座を設定する子口座設定手段と、前記入出金費目について入出金指定入力が発生すると、対応する子口座の入出金処理に割り当てる支出割当手段とを備えることを特徴とする。

【0018】

本発明の別の視点の口座管理システムでは、親口座は、例えば管理者（代表者）名義の口座として金融機関に開設され、親口座の残高が振り分けられた1以上の子口座には、子口座ごとに入出金費目を割り当てる。親口座に対して、入出金費目を指定した入出金処理が発生すると、その入出金処理は、その入出金費目に対応する子口座の入出金処理に割り当てられ、その子口座の残高が更新される。これにより、例えば事前に支出額が確定している費用を分離して、親口座の口座残高が、支出額が確定している費用を下回る事態を回避することができる。

10

【0019】

【発明の実施の形態】

以下、図面を参照し、本発明の実施形態例に基づいて、本発明を更に詳細に説明する。図1は、本発明の第1実施形態例の口座管理システムの構成を示している。口座管理システム100は、金融機関に配置され、口座101を管理する口座管理部102、ネットワーク105及び利用者端末104を介して利用者にユーザインタフェースを提供するWebサーバ103を備える。

【0020】

口座101は、例えば利用者A（管理者）の名義の実口座として金融機関内に開設される。管理者は、口座101を、1つの実口座が仮想的に分割された複数の子口座を管理する。口座101全体の口座残高は、任意の子口座に所望の金額ずつ振り分けられ、子口座残高を単位として管理される。各子口座には、その子口座を使用する利用者が、仮想的な口座名義人として割り当てられる。管理者は、管理者自身を、自身名義の口座101の子口座の利用者に設定することもできる。子口座の利用者Bは、ATM装置（現金自動預け払い機）106を使用して、自身に割り当てられた口座101内の子口座に対する入出金処理を行なう。利用者Bは、その利用者Bに割り当てられた子口座の入出金状況の履歴が入手可能であり、管理者は、口座101内の全ての子口座の入出金状況の履歴が入手可能である。

20

30

【0021】

管理者は、各子口座に、子口座の利用条件として、子口座に許容される上限残高、下限残高、及び、1ヶ月間や1週間の出金金額の上限値を設定することができる。子口座の利用条件は、子口座ごとに異なる設定とすることができ、管理者は、子口座の利用者に応じて、子口座の利用条件を設定する。各子口座の利用者には、金融機関から、ATM装置106で使用する、子口座の利用者を認証するための子口座専用の磁気カード（又はICカード）が発行され、子口座の利用者は、発行された磁気カードを使用して、その子口座に設定された利用条件の範囲内で、自身に割り当てられた子口座に対する入出金操作が可能である。管理者は、子口座の利用条件にかかわらず、口座101内の全ての子口座に対する入出金操作が可能である。

40

【0022】

口座管理部102は、口座101内の子口座の作成／削除を行なう機能と、作成した子口座ごとに、子口座と、その子口座を使用する利用者との対応関係を設定する機能と、子口座の利用条件を設定する機能とを有する。口座101の管理者は、これら口座管理部102の機能を、Webサーバ103が提供するユーザインタフェースを介して利用し、口座101の口座管理情報をメンテナンスする。口座管理情報には、子口座の作成状況、子口座と利用者との対応関係、及び、子口座の利用条件に関する情報が含まれる。また、口座管理部102は、口座101の口座残高を子口座単位で管理し、ATM装置106から、口座101に対する入金又は出金の依頼があると、口座101内の入出金処理の対象となる子口座を選択し、口座残高（子口座残高）を更新する機能を有する。

50

【0023】

図2は、管理者による口座管理情報の更新手順の一例を示している。口座101の管理者は、パーソナルコンピュータや、モバイル機器等の情報処理装置として構成される利用者端末104を使用して、移動体通信網やインターネット網等の通信ネットワークであるネットワーク105上のWebサーバ103に接続する(ステップS1)。管理者からのアクセスを受けたWebサーバ103は、認証情報を入力する画面を利用者端末104に向けて送信する(ステップS2)。利用者端末104は、端末画面上に認証情報入力画面を表示し(ステップS3)、管理者は、画面に従って認証情報を入力して(ステップS4)、認証のための情報をWebサーバ103に送信する(ステップS5)。

【0024】

Webサーバ103は、利用者端末104から認証のための情報を受信し、管理者の認証処理を行なう(ステップS6)。管理者の認証が正常に終了すると、Webサーバ103は、口座管理部102にアクセスし(ステップS7)、口座管理部102は、認証された管理者名義の口座101の子口座ごとの口座残高、子口座の入出金状況の履歴、及び口座管理情報を、口座情報としてWebサーバ103に送信する(ステップS8)。口座情報を受信したWebサーバ103は、受信した口座情報と、口座管理を行なう際の管理メニューとを、利用者端末104に向けて送信する(ステップS9)。利用者端末104の端末画面上には、口座情報と口座管理メニューとが表示される(ステップS10)。

【0025】

管理者は、利用者端末104の端末画面上の管理メニューから所望の処理を選択し、口座情報の変更を入力する(ステップS11)。口座情報の変更には、子口座間での金銭の移し換え(移動)や、口座管理情報の変更が含まれる。利用者端末104は、入力された口座情報を変更するための更新情報をWebサーバ103に向けて送信し(ステップS12)、Webサーバ103は、受信した更新情報を口座管理部102へ送信する(ステップS13)。口座管理部102は、受信した更新情報に基づいて、口座情報の更新を行ない(ステップS14)、更新した口座情報を、Webサーバ103に送信する(ステップS15)。

【0026】

Webサーバ103は、更新された口座情報と、管理メニューとを、利用者端末104に向けて送信し(ステップS16)、利用者端末104の端末画面上には、更新された口座情報と口座管理メニューとが表示される(ステップS17)。管理者は、変更を加えた口座情報が所望の口座情報となるまで、ステップS11からステップS17までを繰り返す行なう。これにより、口座101の口座情報が更新される。口座101を開設する金融機関は、管理者によって口座101内に新たに子口座が作成されると、その子口座に対応する仮想的な名義人に、磁気カードを発行する。

【0027】

子口座に対する入出金は、以下のようにして行なわれる。管理者によって口座101内の子口座に対応付けられた利用者Bが、金融機関から発行された磁気カードをATM装置106に差し込むと、ATM装置106は、その磁気カードから、利用者を識別する情報を取得する。ATM装置106は、取得した利用者を識別する情報を口座管理部102に送信し、口座管理部102は、利用者Bの認証処理を行ない、利用者Bを認証する。口座管理部102は、口座101の管理者が設定した子口座と利用者の割り当てに従い、利用者Bに割り当てられた口座101内の子口座を特定する。

【0028】

利用者Bが、ATM装置106を操作し、自身に割り当てられた子口座に対する入金又は出金を要求すると、口座管理部102は、その要求が、利用者Bに割り当てられた子口座の利用条件を満たすか否かを判断する。口座管理部102は、利用者Bの要求が、その子口座に設定された利用条件を満たさないと判断すると、ATM装置106を介して、利用者Bに、子口座に対する入出金が行なえない旨を通知する。子口座の利用条件を満たす場合には、口座管理部102は、口座101内で利用者Bに割り当てられた子口座の残高を

10

20

30

40

50

、利用者Bの要求に従って更新する。このようにして、利用者Bは、ATM装置106を使用して、子口座に対する入金を行なうことができ、また、子口座から現金を引き出すことができる。また、利用者Bには、その利用者Bに割り当てられた子口座の入出金状況の履歴が表示される。

【0029】

例えば、口座101全体の口座残高が100万円であり、口座101が2つの子口座に分割され、一方の子口座には管理者自身が子口座の利用者として設定され、他方の子口座には利用者Bが子口座の利用者として設定され、子口座の残高がそれぞれ50万円ずつである場合を考える。利用者Bが、ATM装置106を使用して自身用の子口座へ10万円入金すると、口座管理部102は、利用者B用の子口座を50万円から60万円に更新する。このとき、口座101全体の口座残高は110万円となる。また、管理者は、口座間の振り替え等の手続きを必要とせずに口座101内の金銭を自由に移動することができ、利用者B用の子口座の口座残高を60万円から50万円にして、管理者用の子口座の口座残高を50万円から60万円にすることができる。

【0030】

本実施形態例では、口座101は、仮想的に分割された複数の子口座を単位として管理され、各子口座には、口座101を共有する利用者が割り当てられる。口座101は管理者名義の口座であるため、口座101の管理者は、口座101内の任意の子口座に対する入出金操作が可能であり、口座間の振り替え等の手続きを必要とせずに、口座101内の任意の子口座から口座101内の別の任意の子口座に、自由に金銭を移動することができる。これにより、管理者は、口座101の全体の口座残高を、任意の子口座に所望の額ずつ割り当てて、子口座間の残高を調整することができ、口座101の管理の利便性が向上する。

【0031】

例えば、口座101を家族で使用する場合には、家族を代表して親が管理者となって金融機関に口座101を開設し、親は、家族の構成員のそれぞれを、子口座の仮想的な口座名義人に割り当てる。親が子供に仕送りをする場合には、管理者である親は、口座101全体の口座残高に変更を加えることなく、子口座間の残高を調整することで、親用の子口座から子供用の子口座へ金銭を移動することができる。この場合、金銭の移動のために、口座間の振り替え等の手続きをする必要はなく、振り替え等にかかる手数料や手間を削減して、仕送りを簡易に行なうことができる。

【0032】

各子口座の利用者は、自身に割り当てられた子口座に対して入出金を行ない、子口座残高を更新する。管理者は、子口座ごとに、子口座に対する入出金を制限する子口座の利用条件を設定可能である。例えば、管理者が子口座に1ヶ月間の出金金額の上限を定めるように子口座の利用条件を設定する場合には、その子口座の利用者による出金操作が、設定された利用条件を満たさないものとなるときには、子口座からの出金は行なわれない。このようにすることで、管理者は、子口座の残高の範囲内であっても、子口座の利用者による子口座の利用を制限することができ、子口座の利用状況を管理して、子口座の利用者による使い込みを防止することができる。

【0033】

子口座の利用者は、口座101全体の入出金の履歴のうち、自身に割り当てられた子口座の入出金の履歴を入手して閲覧することはできるが、他の子口座の利用者による口座101の入出金の履歴を入手することはできない。このため、子口座の利用者は、自身に割り当てられた子口座の管理が容易となると共に、口座101を共有する子口座の利用者間では、互いのプライバシーが保たれる。また、管理者は、口座101全体の入出金の履歴が、つまり、全ての子口座の入出金状況が入手でき、口座101全体の残高を管理できると共に、子口座の利用者による子口座の使用状況を把握できる。

【0034】

図3は、本発明の第2実施形態例の口座管理システムの構成を示している。本実施形態例

では、子口座ごとに利用者を割り当てるのに代えて、子口座ごとに、例えば出金費目として構成される使用用途を割り当てている。口座管理システム 110 では、口座管理部 102 は、子口座と、その子口座の使用用途とを対応付ける機能を有する。管理者は、Webサーバ 103 を介して口座管理部 102 を操作して口座管理情報をメンテナンスし、子口座ごとに使用用途を設定する。

【0035】

例えば、管理者は、子口座 1 を、クレジットカードの支払いに使用する子口座に設定し、子口座 2 を、電気料金の自動引き落としに使用する子口座に設定する。金融機関に、クレジットカードの決済、又は、電気料金の自動引き落としの依頼が届くと、口座管理部 102 は、管理者が設定した口座管理情報に基づいて、クレジットカードの決済用として設定された子口座、又は、電気料金の引き落とし用として設定された子口座から出金を行ない、子口座の残高を更新する。

【0036】

本実施形態例では、管理者は、子口座に対して使用用途を割り当て、口座 101 全体の口座残高を、子口座ごとに所望の金額ずつ割り当てる。これにより、例えば事前に支出額が確定している費用を、他の子口座から分離することができ、使い込みにより、口座 101 全体の口座残高が、支出額が確定している費用を下回る事態を回避することができる。また、デビットカード等のカード決済用の口座として子口座を指定する場合には、その子口座の子口座残高によりカード決済利用額が制限されることになり、浪費が防止できる。

【0037】

なお、口座 101 は、全てが子口座に分割されていなくてもよく、何れの子口座にも属さない残高があってもよい。振込み等により、口座 101 に対して、子口座を指定しない入金又は出金がある場合には、何れの子口座にも属さない口座 101 の残高部分に対して入金又は出金を行なってもよく、或いは、管理者によってあらかじめ設定された所定の子口座に対して入金又は出金を行なってもよい。また、上記第 1 実施形態例と第 2 実施形態例とを組み合わせることもでき、口座 101 内には、仮想的な名義人が割り当てられる子口座と、使用用途が割り当てられる子口座とが混在していてもよい。

【0038】

上記第 2 実施形態例では、使用用途が割り当てられた子口座から出金される例について示したが、子口座には使用用途として入金費目が割り当てられ、その子口座に対して入金を行なってもよい。例えば、管理者は、口座 101 内の所望の子口座に給料入金の使用用途を割り当てる。金融機関に、口座 101 に対する給料の入金依頼があると、口座管理部 102 は、給料入金用の子口座を特定し、その子口座に対して入金を行なう。この場合には、入金費目の管理が容易となる。

【0039】

以上、本発明をその好適な実施形態例に基づいて説明したが、本発明の口座管理システムは、上記実施形態例にのみ限定されるものではなく、上記実施形態例の構成から種々の修正及び変更を施した口座管理システムも、本発明の範囲に含まれる。例えば管理者は、ATM 装置を使用して、自身名義の口座内の任意の子口座に対して入出金を行なうこともできる。

【0040】

【発明の効果】

以上説明したように、本発明の口座管理システムでは、親口座の管理者は、親口座内の任意の子口座を指定して、その子口座に対する入出金を行なうことができる。このため、異なる利用者が割り当てられた子口座間で金銭を移動する場合であっても、口座間の振り替え等の手続きを必要とせずに、2 つの子口座間で一方の子口座から他方の子口座へ金銭を移動して子口座間の残高を調整することができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】本発明の第 1 実施形態例の口座管理システムの構成を示すブロック図。

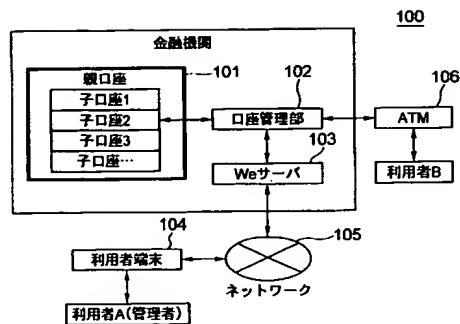
【図 2】図 1 の口座管理システムの処理の流れを示すフローチャート。

【図3】本発明の第2実施形態例の口座管理システムの構成を示すブロック図。

【符号の説明】

- 100：口座管理システム
- 101：口座
- 102：口座管理部
- 103：Webサーバ
- 104：利用者端末
- 106：ATM装置

【図1】



【図2】

